

1

1 美しい (3・4・6 各完答)
 2 あった。
 3 かい

4 シト (5 ア)
 × (イ)
 × (ウ)
 ○

6 A ウ B イ C エ (記述題)
 7 (記述題)
 8 ア
 9 エ

10 a 感度 b 強調 c 図式

d 一目散

2

1 a 投票 b 冷たい c 夜道

2 エ 3 イ 4 I 千ル II 上賞

5 笑顔 6 ウ 7 ア 8 イ

9 ア 10 フルート

1

7
 と の ご ち 実
 い お っ に 験
 う 金 て 飲 に
 こ が や 食 動
 と 減 る 店 員
 。 っ た で し
 て め 食 た
 し 事 後
 ま 筆 を 輩
 う 者 お た

(同意可)

配点	
11021	各2点×7=14点
17	6点
その他	各4点×20=80点
100点	

1

- 1 通読時、筆者の書き方にも気を配って読んでほしい。一文目では「ゴミ袋」に対して「輝かしい」と述べ、さらに二文目でそれを私たちが「うっとり」と眺める」と述べている。二文目では「食い物」を連呼して、カラスが食物にがつく様子も示している。
- 2 一つ目は「カラスは黄色が嫌い」という説についてであり、二つ目は「ヒトとカラスの視覚の違い」について、そして三つ目は「カラスの眼の構造」についての説明である。
- 3 文章を読み進めるうえでは出だしを慎重に読んで話題をつかむことが求められるが、この問いでは後続の話題から答えを探す必要がある。「黄色い」「ゴミ袋」「カラスの視覚」と続いていることに注目したい。
- 4 「遮断」の意味を知らなくとも落ち着いて傍線を含む一文を読み、手がかりを探す。直前の「だから」でうけている前文の内容からカラスが紫外線を使って対象を認識していることを読み取り、紫外線が「使えなくなる」状態を表す言葉であることにたどりつけば、後は同じようなイメージの言葉を探せば良い。なお、「カット」も同様の意味で用いられている。
- 5 カラスは紫外線によって対象を認識するため、「紫外線を通すならピンポイントで(＝対象を認識して)突く」・「紫外線を通さないなら当てずっぽうで突く」のである。アは「紫外線を通す」のに「当てずっぽう」であり、「紫外線を通さない」のに「ピンポイント」となっているうえ、「紫外線を通さない真っ黒なゴミ袋」については文中で述べられていないので×。イは「紫外線を通さない」のに「ピンポイント」となっているので×である。
- 6 (A)には二種類のゴミ袋をカラスに見せるとそれぞれの袋に対してカラスが別の行動を起こした、という自然な流れのため「すると」が入る。(B)には、直前の「カラスにサンプルと本物を見せるとどうなるのか」という内容から「カラスが物を見るうえでは紫外線が重要な役割を果たしていた」という別の話題に切り替わっているため、「さて」が入る。(C)には直前の「紫外線を含む」太陽光を避け」ることに加えて「蛍光灯の紫外線もカットする」という流れのため、「さらに」が入る。
- 7 後輩たちが飲食店での「ごほうび」を期待しているから「財布が軽くなる」という流れに注目する。実験を手伝ったことへの「ごほうび」であろうし、飲食店での「ごほうび」とはもちろん飲み食いすることであろう。そして、その飲食代を筆者が負担するからこそ「財布が軽くなる＝お金が減る」のである。この流れが説明できていれば表現は広く認める。
- 8 傍線を含む一文に「やはり」という表現があり、そこから文脈をたどっていくと「カラスが物を見るときは紫外線が決定的に重要なのだ」という文にたどり着く。師の開発したゴミ袋の効果を、筆者は自身が行った「実験」によって改めて確認したのであった。
- 9 直前で「哺乳類では」と述べているため、カラスについて説明しているものは選べないことに注意。「鳥類では未説明」と続くことから、同段落の「どうやって眼の組織を守っているのだろう」という問いかけにたどり着きたい。
- 10 aは「感」の八・九面目を書き忘れないように注意。bの「強」を「協」や「共」、「調」を「長」や「張」などといった同音異字にしないよう、言葉の意味をもとにして答えてほしい。dは「一目散ににげる」といった使い方もある言葉である。それぞれ文脈に沿って書くべき漢字を考えよう。

2

- 1 aの「票」を「表」や「評」と書かないように。cの「夜道」は「夜」の七面目の書き忘れや、「道」のしんによるの字形に気をつけたい。間違った漢字は意味やイメージをしっかりと確認しておいてほしい。
- 2 「不適當なもの」を選ぶことに注意したい。「啞然と眩」いたのは、「オーボエソロ」があることが智子にとって想定外であったことが理由である。演奏曲が「エル・カミーノ・レアル」であっても「ソロ」という要素が無ければ「啞然と眩」いたことの原因とは言えないのでエが「不適當なもの」と決まる。その他の選択肢はいずれも「ソロ」についてふれているものであった。
- 3 傍線を含む一文に「そうなれば、どんなに良いことか……」とあった。「演奏を披露すること」、「常連が見に来ること」、「常連から高い評価を受ける」こと、「音楽隊を廃止すべきでない」という声が上がることのどれが「良いこと」にあたるのかを考える。一見ウも答えの可能性がありそうだが、「子供たち」に限定しているので不適である。
- 4 「十位前後に甘んじている」ような成績のため評価が低く、「音楽隊を廃止」という意見が上がっているのであった。だからこそコンクールで上位入賞することを「爪痕を残す」と表現している。
- 5 ④はそのままで「先生」の意見に仕方なく従う大川副隊長の「息を詰め」に対応する「ぐっと」が入る。(B)には「震える私の拳」の様子を示す「小刻みに」が入る。(C)には「強い意志を宿して輝く瞳」の様子に対応する「真っ直ぐに」が入る。直後の「射抜く」も手がかりとなるだろう。
- 7 直前で、優芽は「先輩を差し置いてソロを務めることになった時」に受けた周囲からの対応を思い出し、当時の辛い気持ちを思い起こしていた。その様子を心配してくれた智子に対して「口元を無理やり引き上げ」て笑顔を見せようとしているのである。
- 8 中略以前のオーディションに関する奈々子の考えをふまえ、「現役音大生に勝つ＝オーディションで奈々子と競い、ソロパートを勝ち取る」ことを読み取りたい。
- 9 各場面にどのような人物が存在しているのかは、通読時に確認しておきたい。「奈々子」は中略以降では優芽と千尋の会話に出て来るのみであり、「早瀬」は優芽が頭の中で考えているだけなのでここでの「歩いている三人」には含まれない。
- 10 優芽と千尋、智子とのやりとりの中で「サククスまであの会話聞こえてたの!？」と優芽が驚いているところから、担当楽器ごとに固まっていたことが読み取れる。続く千尋の「サククスってフルートの後ろだから、会話は……」とあることに注目すれば良い。

以上